

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3
コース	高入 I, II 類			クラス	1 ~ 3 組
教科書	改訂版 数学 I (数研出版)		改訂版 数学 II (数研出版)		
副教材	REPEAT 数学 I + A (数研出版)		REPEAT 数学 II + B (数研出版)		
	チャート式 解法と演習 数学 I + A (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第 1 章 数と式 式の計算 実数		<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学で学んだ文字式や平方根の計算を拡張させることができる。 		
1 学 期 期 末	第 1 章 数と式 1 次不等式 第 2 章 命題と集合 第 3 章 2 次関数 2 次関数とグラフ		<ul style="list-style-type: none"> ・ 不等式の解や不等式の性質を理解し、不等式が解くことができる。 ・ 集合や命題の概念を理解し、証明に活かすことができる。 ・ 中学で学んだ 2 次関数を拡張させ、グラフを描くことができる。 		
2 学 期 中 間	第 3 章 2 次関数 2 次関数の値の変化 2 次方程式と 2 次不等式		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、最大値や最小値を求めることができる。 ・ グラフと方程式と不等式の関係を理解し、2 次不等式が解けるようになる。 		
2 学 期 期 末	第 4 章 図形と計量 三角比 三角形への応用		<ul style="list-style-type: none"> ・ 三角比の意味とその相互関係について理解する。 ・ 正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角度、面積を求めることができる。 		
学 年 末	第 1 章 式と証明 (数学 II) 式と計算 等式と不等式の証明		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 次の展開や因数分解が出来る。 ・ 整式の割り算や分数式の計算が出来る。 ・ 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを論理的に述べることができる。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3
コース	高入Ⅲ類			クラス	4組
教科書	改訂版 数学 I (数研出版)		改訂版 数学 II (数研出版)		
副教材	REPEAT 数学 I + A (数研出版)		REPEAT 数学 II + B (数研出版)		
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第1章 数と式 式の計算 実数		<ul style="list-style-type: none"> ・中学で学んだ文字式や平方根の計算を拡張させることができる。 		
1 学 期 期 末	第1章 数と式 1次不等式 第2章 命題と集合 第3章 2次関数 2次関数とグラフ		<ul style="list-style-type: none"> ・不等式の解や不等式の性質を理解し、不等式が解くことができる。 ・集合や命題の概念を理解し、証明に活かすことができる。 ・中学で学んだ2次関数を拡張させ、グラフを描くことができる。 		
2 学 期 中 間	第3章 2次関数 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式		<ul style="list-style-type: none"> ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、最大値や最小値を求めることができる。 ・グラフと方程式と不等式の関係を理解し、2次不等式が解けるようになる。 		
2 学 期 期 末	第4章 図形と計量 三角比 三角形への応用		<ul style="list-style-type: none"> ・三角比の意味とその相互関係について理解する。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、辺の長さや角度、面積を求めることができる。 		
学 年 末	第1章 式と証明 (数学 II) 式と計算 等式と不等式の証明		<ul style="list-style-type: none"> ・3次の展開や因数分解が出来る。 ・整式の割り算や分数式の計算が出来る。 ・数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことを論理的に述べるができる。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3
コース	一貫未来創造			クラス	5, 6組
教科書	改訂版 数学 II (数研出版)				
副教材	REPEAT 数学 II + B (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第 1 章 式と証明 (数学 II) 式と計算 等式の証明		<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・等式が成り立つことを証明できるようにする。 		
1 学 期 期 末	第 1 章 式と証明 不等式の証明 第 2 章 複素数と方程式 複素数と 2 次方程式の解 高次方程式		<ul style="list-style-type: none"> ・不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 		
2 学 期 中 間	第 3 章 図形と方程式 点と直線 円		<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 		
2 学 期 期 末	第 3 章 図形と方程式 軌跡と領域 第 4 章 三角関数 三角関数		<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件を満たす点を式に表せる。 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角比を関数化し、そのグラフが描けるようになる。 		
学 年 末	第 4 章 三角関数 加法定理 第 5 章 指数対数 指数関数		<ul style="list-style-type: none"> ・加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3
コース	一貫 Will Frontier			クラス	7組
教科書	改訂版 数学 II (数研出版)				
副教材	クリアー 数学 II + B (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第 1 章 式と証明 (数学 II) 式と計算 等式の証明		<ul style="list-style-type: none"> ・整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにする。 ・等式が成り立つことを証明できるようにする。 		
1 学 期 期 末	第 1 章 式と証明 不等式の証明 第 2 章 複素数と方程式 複素数と 2 次方程式の解 高次方程式		<ul style="list-style-type: none"> ・不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 		
2 学 期 中 間	第 3 章 図形と方程式 点と直線 円		<ul style="list-style-type: none"> ・座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 		
2 学 期 期 末	第 3 章 図形と方程式 軌跡と領域 第 4 章 三角関数 三角関数		<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた条件を満たす点を式に表せる。 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角比を関数化し、そのグラフが描けるようになる。 		
学 年 末	第 4 章 三角関数 加法定理 第 5 章 指数対数 指数関数		<ul style="list-style-type: none"> ・加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学A	単位数	3
コース	高入I, II類			クラス	1～3組
教科書	改訂版 数学A, 改訂版 数学I (数研出版)				
副教材	REPEAT 数学I+A, チャート式 解法と演習 数学I+A (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2章 集合と命題 (数学I) 集合		・集合の概念を理解する。		
	第1章 場合の数と確率 (数学A) 場合の数		・順列や組合せの意味を理解し、様々な事象の総数を求めることができる。		
1 学 期 期 末	第1章 場合の数と確率 確率		・確率の意味や法則について理解し、様々な事象の確率を求めることができる。		
2 学 期 中 間	第2章 図形の性質 平面図形		・三角形や円についての基本的な性質を理解し、それを用いて様々な計量ができる。		
2 学 期 期 末	第2章 図形の性質 空間図形		・空間図形の基本的な性質を理解し、それをもとに新たな性質を考察できる。		
	第3章 整数の性質 約数と倍数		・約数や倍数の性質を用いて、整数に関する様々な問題を解くことができる。		
学 年 末	第3章 整数の性質 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用		・整数の除法の性質を理解し、方程式の整数解を求めることができる。 ・n進法などの新たな数の表現方法を理解する。		
	第5章 データの分析 (数学I) データの分析		・統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学A	単位数	3
コース	高入Ⅲ類			クラス	4組
教科書	改訂版 数学A, 改訂版 数学I (数研出版)				
副教材	REPEAT 数学I+A, チャート式 解法と演習 数学I+A (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2章 集合と命題 (数学I) 集合 第1章 場合の数と確率 (数学A) 場合の数		<ul style="list-style-type: none"> 集合の概念を理解する。 順列や組合せの意味を理解し、様々な事象の総数を求めることができる。 		
1 学 期 期 末	第1章 場合の数と確率 確率		<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味や法則について理解し、様々な事象の確率を求めることができる。 		
2 学 期 中 間	第2章 図形の性質 平面図形		<ul style="list-style-type: none"> 三角形や円についての基本的な性質を理解し、それを用いて様々な計量ができる。 		
2 学 期 期 末	第2章 図形の性質 空間図形 第3章 整数の性質 約数と倍数		<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の基本的な性質を理解し、それをもとに新たな性質を考察できる。 約数や倍数の性質を用いて、整数に関する様々な問題を解くことができる。 		
学 年 末	第3章 整数の性質 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用 第5章 データの分析 (数学I) データの分析		<ul style="list-style-type: none"> 整数の除法の性質を理解し、方程式の整数解を求めることができる。 n進法などの新たな数の表現方法を理解する。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学A	単位数	3
コース	一貫未来創造			クラス	5,6組
教科書	改訂版 数学A, 改訂版 数学I, 改訂版 数学B (数研出版)				
副教材	REPEAT 数学I+A, REPEAT 数学II+B (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2章 図形の性質 (数学A) 平面図形		<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
1 学 期 期 末	第2章 図形の性質 空間図形 第3章 整数 約数と倍数 ユークリッドの互除法		<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。 整数の性質についての理解を深め, それを事象の考察に活用できるようにする。 		
2 学 期 中 間	第3章 整数 整数の性質の活用 第5章 データの分析 (数学I) データの分析		<ul style="list-style-type: none"> 整数の性質についての理解を深め, それを事象の考察に活用できるようにする。 統計の基本的な考えを理解するとともに, それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 		
2 学 期 期 末	第3章 数列 (数学B) 等差数列と等比数列 いろいろな数列		<ul style="list-style-type: none"> 簡単な数列とその和について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
学 年 末	第3章 数列 漸化式と数学的帰納法 第1章 平面ベクトル ベクトルとその演算		<ul style="list-style-type: none"> 漸化式と数学的帰納法について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 ベクトルの基本的な概念について理解し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。 		
備考					

2019年度 高校1年

教科	数学	科目	数学A	単位数	3
コース	一貫 Will Frontier			クラス	7組
教科書	改訂版 数学A, 改訂版 数学I, 改訂版 数学B (数研出版)				
副教材	クリアー数学I+A, クリアー数学II+B (数研出版)				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第2章 図形の性質 (数学A) 平面図形		<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
1 学 期 期 末	第2章 図形の性質 空間図形 第3章 整数 約数と倍数 ユークリッドの互除法		<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質についての理解を深め, それらを事象の考察に活用できるようにする。 整数の性質についての理解を深め, それを事象の考察に活用できるようにする。 		
2 学 期 中 間	第3章 整数 整数の性質の活用 第5章 データの分析 (数学I) データの分析		<ul style="list-style-type: none"> 整数の性質についての理解を深め, それを事象の考察に活用できるようにする。 統計の基本的な考えを理解するとともに, それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。 		
2 学 期 期 末	第3章 数列 (数学B) 等差数列と等比数列 いろいろな数列		<ul style="list-style-type: none"> 簡単な数列とその和について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 		
学 年 末	第3章 数列 漸化式と数学的帰納法 第1章 平面ベクトル ベクトルとその演算		<ul style="list-style-type: none"> 漸化式と数学的帰納法について理解し, それらを事象の考察に活用できるようにする。 ベクトルの基本的な概念について理解し, その有用性を認識するとともに, 事象の考察に活用できるようにする。 		
備考					